

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
検査測定実習	PSP22-012	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	臨床実習協力施設における臨床実習指導者の指導の基、理学療法の業務内容を見学および臨床業務補助を行い、対象者に検査・測定を実施する。基本的な検査・測定技術の自己習熟度を確認するとともに、教科書では把握しきれない対象者の疾患、障害構造の応用的理解を深める。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习) ☐ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習 ☐ 実技 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ その他（ ）				
学習上の助言	検査測定の意義の理解と施行できるようになることが目標であるが、検査測定技術だけではなく解剖学、運動学、生理学などこれまで学んできた科目全般の知識が必要となるのでしっかりと復習しておくこと。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	職業人としての望ましい態度・行動ができる。			RH (1),(3),(4),(6)	
②	対象者に適切な検査測定を実施することができる。			RH (2),(3),(5)	
③	各種記録を作成することができる。			RH (2),(4),(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
実習日程 ・検査測定実習は、臨床実習協力施設にて4日間、学内での実習を1日の合計5日間行う。 ・開講時期は冬期休業期間 2026 年 1 月～3 月中旬を予定している。 ・1 期 1 週間（施設実習 4 日間＋学内実習 1 日間）として計 4 期設定し学生はいずれかの 1 期を履修する。 ・実習詳細は、実習前実習として 11 月または 12 月にガイダンスを開催する。 検査測定実習は、2 年生までに習得した基本的な検査・測定について実際の患者・利用者を対象に体験する。臨床実習指導者の指導の下、クリニカルクラークシップにて、理学療法士が行う評価について部分的な検査・測定を模倣・実践していく。 [学外実習内容] 実習期間は冬季休業中の 4 日間とし、学外実習協力施設にて実習を行う。主な注意点を下記に示す。 ☐ 実習施設の規則を遵守し、指示に従うこと ☐ 予め立案した目標を達成できるように能動的に行動すること ☐ 実習記録を作成し、次の日に実習指導者に提出すること(最終日の記録は指導者への提出は不要であるが、作成すること) ☐ 適宜、必要な事項について予習・復習を行うこと [学内実習内容] 実習開始前：担当教員により計 3 コマのガイダンス（実習の手引きの説明,ポートフォリオ,実習準備書類の作成指導） 実習終了後：担当教員により任意の 1 日（3 コマ） ※1～4 期施設実習終了後 ・実習の経験に基づき、実習の振り返りと実習の課題を行い、実習報告用のプレゼンテーション資料を作成する。 ・実習報告を各グループで行う。なお、各グループ内で日程を調整すること。 ・臨床実習アンケートに回答する。					
必要時間（単位：時間）：				40	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

学習課題・学習時間							
解剖学、運動学、生理学などを復習し、検査・測定の基本手技について測定方法の実技練習を行っておくこと。							
						必要時間（単位：時間）：	5
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	30	70	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	10	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	10	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	10	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		実習終了後に、発表を行う。発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				発表を開き、その場でフィードバックを行う。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	実習への参加、医療従事者として節度ある対応、学科指定の提出物、および学内での成果発表の状況をふまえて総合的に評価する。				実習終了後の発表の場で講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村 浩司、粕山 達也、関口 賢人、関根 聡美、源 裕介、坂本 祐太、石井智也、福田 京佑						
教員の実務経験	理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。						
実践的授業の内容	臨床現場で使用する検査、測定方法について、臨床経験に基づく視点から指導を行う。						
そ の 他	・専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。 ・学内実習はオンラインで実施するので受講場所の通信環境を整えておくこと。						